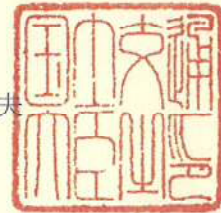


# 認定書

国住参建第 2397 号  
令和 6 年 10 月 31 日

フネンアクロス株式会社  
代表取締役 稲葉 久敬 様

国土交通大臣 齊藤 鉄夫



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 4 第 1 項第七号ハ（防火区画貫通部 1 時間遮炎性能）の規定に適合するものであることを認める。

## 記

1. 認定番号  
PS060FL-1235-1
2. 認定をした構造方法等の名称  
給水管・排水管・繊維混入セメントモルタル被覆合成樹脂管／セメントモルタル充てん／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）
3. 認定をした構造方法等の内容  
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

## 1. 構造名：

給水管・排水管・繊維混入セメントモルタル被覆合成樹脂管／セメントモルタル充てん／床耐火構造  
／貫通部分（中空床を除く）

## 2. 寸法等の仕様：

寸法等の仕様を表1に示す。

表1 寸法等の仕様

項 目		仕 様
開口部	形状	円形(φ209mm以下)
	面積	0.0343m <sup>2</sup> 以下
占積率 (開口面積に対する配管の断面積の総合計の割合)		70.2%以下
貫通する床の構造等		鉄筋コンクリート 厚さ 100mm以上

## 3. 主構成材料の仕様：

主構成材料の仕様を表2に、配管の仕様を表3に示す。

表2 主構成材料の仕様

項 目	仕 様	
充てん材	材料	セメントモルタル
	組成 (質量%)	普通ポルトランドセメント 25(±5)
		細骨材(砂) 75(±5)
充てん量	隙間に密に充てん (床厚方向100mm以上)	

表 3 配管の仕様

項 目		仕 様			
継手及び給水管・排水管(以下配管という)	継手	外管	材料	繊維混入セメントモルタル	
			組成 (質量%)	①又は②	
				①セメント：1)、2)又は組合せ	45(±5)
				1)ポルトランドセメント(JIS R 5210)	
				2)エコセメント(JIS R 5214)	
			無機質骨材・無機質混和材	50(±6)	
	有機質繊維	5(±1)			
	非公開				
	②セメント：1)、2)又は組合せ	75(±10)			
	1)ポルトランドセメント(JIS R 5210)				
	2)エコセメント(JIS R 5214)				
	無機質混和材・軽量骨材	21(±8)			
有機質繊維	4(±2)				
非公開					
密度	1.4(±0.2)g/cm <sup>3</sup>				
寸法	外径	呼び径 125 以下 [近似外径 φ175mm 以下]			
	厚さ	6~13mm			
内管	材料	①~③の一			
		①硬質ポリ塩化ビニル管製 ②耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管製 ③耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管製			
	寸法	外径	呼び径 125 以下 [近似外径 φ150.5mm 以下]		
厚さ		2.7~5.4mm			
空間形成材	材料	仕様：あり又はなし			
		①~④の一、又は組み合わせ 非公開			
寸法	非公開				

つづく

つづき

継手及び給水管・排水管（以下配管という）	閉塞機能継手	外管	材料	繊維混入セメントモルタル	
			組成 (質量%)	①又は②	
				①セメント：1)、2)又は組合せ	45(±5)
				1)ポルトランドセメント(JIS R 5210)	
				2)エコセメント(JIS R 5214)	
		無機質骨材・無機質混和材	50(±6)		
		有機質繊維	5(±1)		
		非公開			
		②セメント：1)、2)又は組合せ	75(±10)		
		1)ポルトランドセメント(JIS R 5210)			
		2)エコセメント(JIS R 5214)			
		無機質混和材・軽量骨材	21(±8)		
		有機質繊維	4(±2)		
		非公開			
		密度	1.4(±0.2)g/cm <sup>3</sup>		
寸法	外径	呼び径 125 以下 [近似外径 φ 175mm 以下]			
	厚さ	6~13mm			
内管	材料	①~③の一 ①硬質ポリ塩化ビニル管製 ②耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管製 ③耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管製			
	寸法	外径	呼び径 125 以下 [近似外径 φ 150.5mm 以下]		
厚さ		2.7~5.4mm			
空間形成材	材料	仕様：あり又はなし ①~④の一、又は組み合わせ 非公開			
	寸法	非公開			
熱膨張材	材料	熱膨張性黒鉛混入樹脂シート			
	組成 (質量%)	非公開			
	寸法				
固定テープ	材料	非公開			
	寸法				
	使用箇所	空間形成材、熱膨張材を固定			

つづく

つづき

配管	継手(横枝管用)	本体	材料	仕様：あり又はなし 軟質塩化ビニル樹脂製接続管継手			
			寸法	呼び径	100以下〔受け口部内径φ114mm以下〕		
				厚さ	近似厚さ：2～7mm		
		形状	ストレートタイプ又はフレキタイプ				
	金属バンド	材料	仕様：あり又はなし 鋼製又はステンレス鋼製				
		材料	①～③の一 ①硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K 6741、JIS K 6742)(VP、HIVP) ②リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(JIS K 9798)(RF-VP) ③耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K 6776)(HT)				
	接続管	寸法	外径	呼び径125以下〔外径φ140mm以下〕			
			厚さ	7.5mm以下			
		使用箇所	継手と閉塞機能継手の接続用				
	立て管	外管	材料	繊維混入セメントモルタル			
			形状	円筒(一般部) ただし、必要に応じて単管連結筒を用いても良い			
			組成(質量%)	セメント：1)、2)又は組合せ	75(±10)		
				1)ポルトランドセメント(JIS R 5210) 2)エコセメント(JIS R 5214)			
			無機質混和材・軽量骨材	21(±8)			
			有機質繊維	4(±2)			
		非公開					
		密度	1.4(±0.2)g/cm <sup>3</sup>				
		寸法	外径	呼び径125以下〔近似外径φ156mm以下〕 ただし、単管幅は15mm以上			
			厚さ	近似厚さ7.0mm以下			
表面処理材	材料	仕様：あり又はなし アクリル樹脂系					
	質量	90g/m <sup>2</sup> 以下					
内管	材料	①～③の一 ①硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K 6741、JIS K 6742)(VP、HIVP) ②リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(JIS K 9798)(RF-VP) ③耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K 6776)(HT)					
		寸法	外径	呼び径125以下〔外径φ140mm以下〕			
	厚さ		7.5mm以下				
空間形成材	材料	仕様：あり又はなし  非公開					
	厚さ						
	形状	リング又はシート					
横枝管	材料	①～④の一、又は組合せ ①耐火二層管(外管及び内管：立て管と同じ) ②硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K 6741、JIS K 6742)(VP、HIVP) ③リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管(JIS K 9798)(RF-VP) ④耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管(JIS K 6776)(HT)					
		寸法	外径	材料①：呼び径100以下〔近似外径φ129mm以下〕 材料②～④：呼び径100以下〔外径φ114mm以下〕			
	厚さ		7.1mm以下				

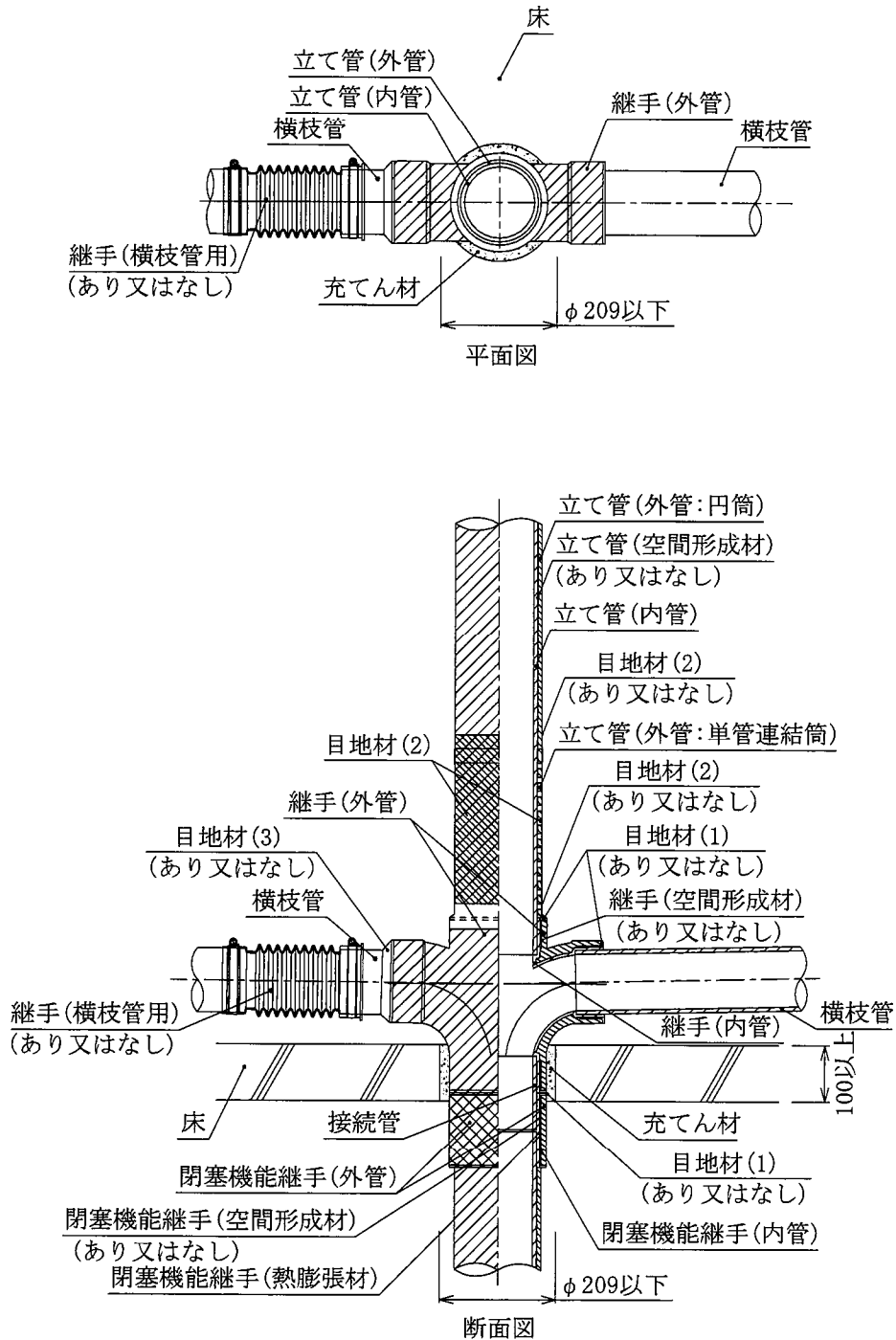
4. 副構成材料の仕様：  
副構成材料の仕様を表4に示す。

表4 副構成材料の仕様

項目		仕様	
目地材(あり又はなし)	(1)	材料	熱膨張性黒鉛混入樹脂シート ①～③の一、又は組み合わせ
		組成 (質量%)	材料① 非公開
			材料② 非公開
			材料③ 非公開
		厚さ	非公開
	使用箇所	継手外管の目地用	
	(2)	材料	片面アルミニウムはく張ガラスクロス付ポリアクリロニトリル繊維フェルト(粘着剤付) 構成：①～④の積層 非公開
		寸法	
		使用箇所	1) 継手、立て管、横枝管の各部接続部(あり又はなし) 2) 単管連結筒の外装用(あり)
	(3)	材料	シリコーン系シーリング材(JIS A 5758)
使用量		43g/m以下	
使用箇所		継手と直管の接続部	

5. 構造説明図：  
 構造説明図を図1～図4示す。

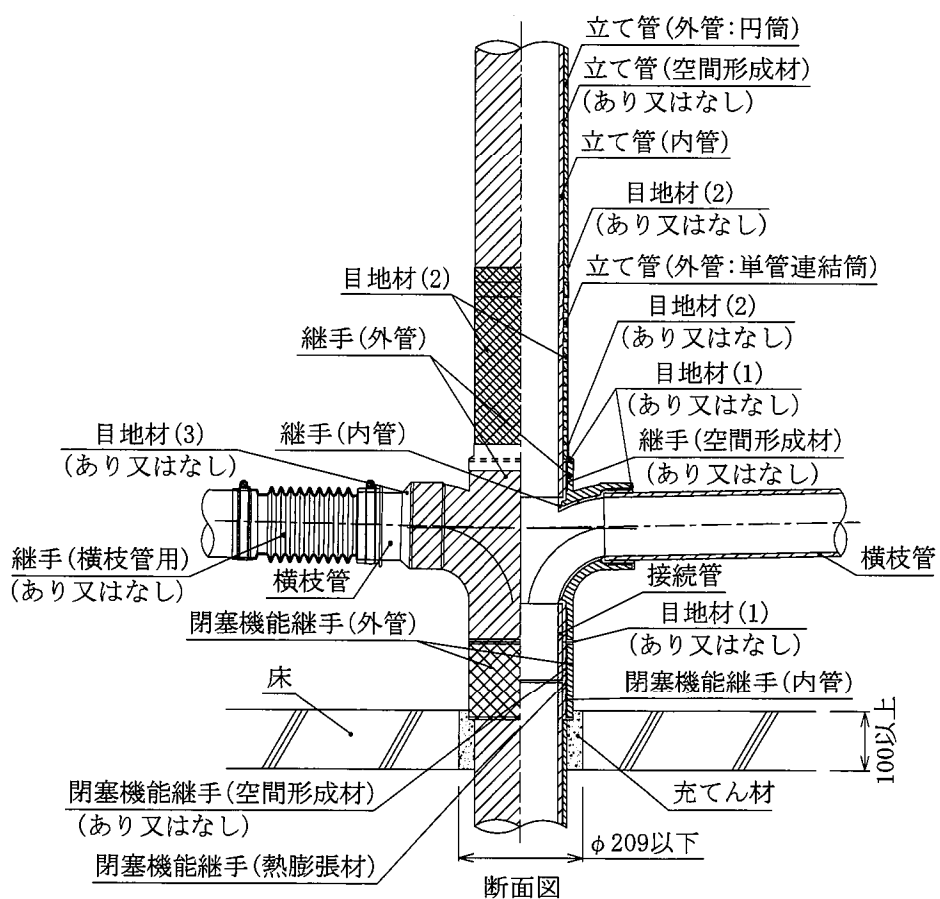
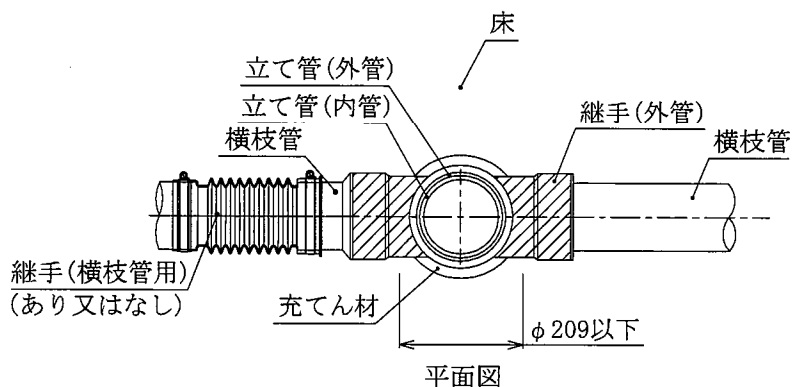
単位 mm



継手を躯体に埋設した場合

図1 構造説明図(施工図)

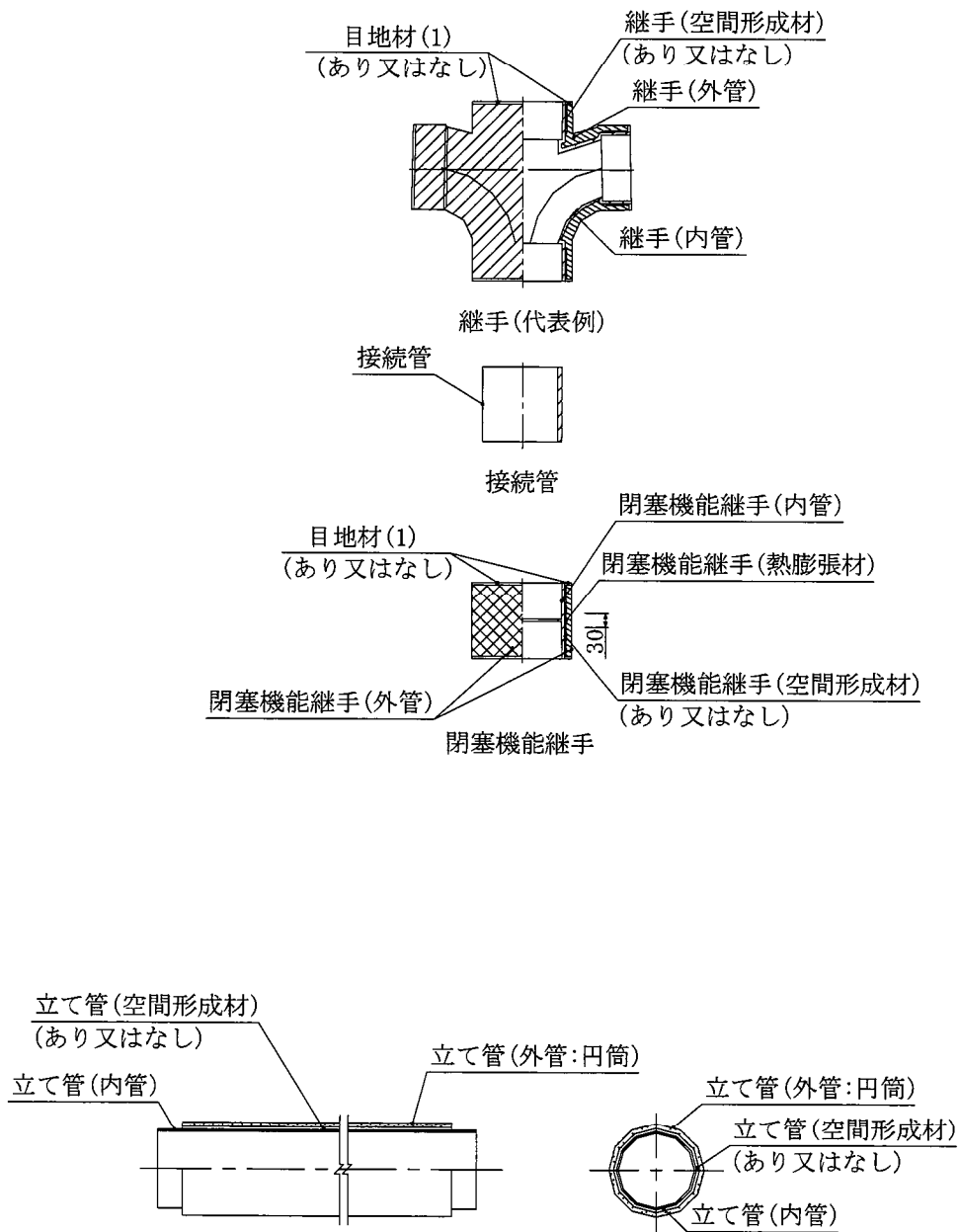
単位 mm



継手を躯体に埋設しない場合

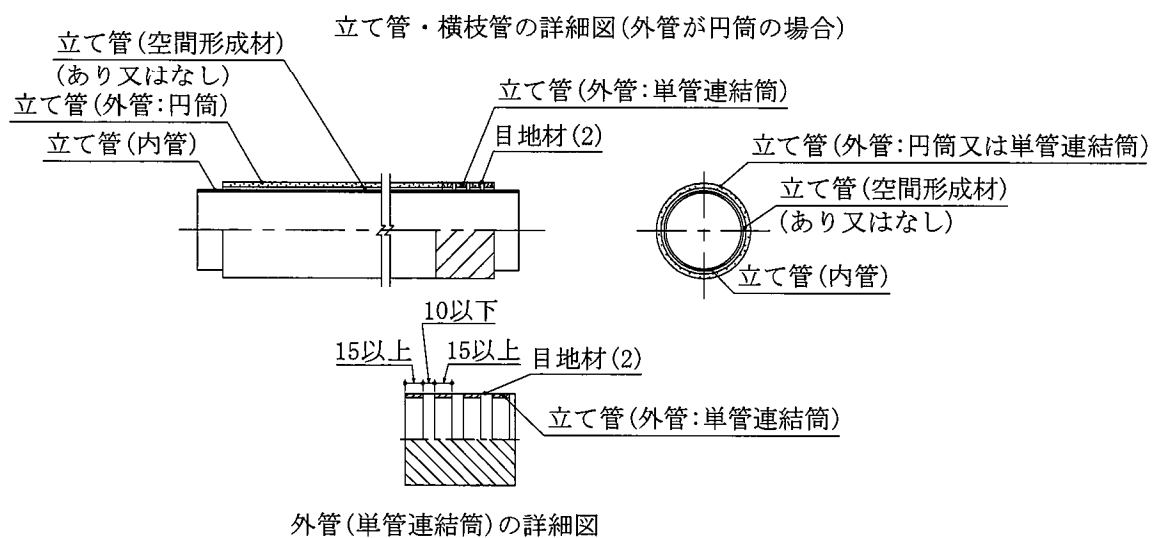
図2 構造説明図(施工図)

単位 mm

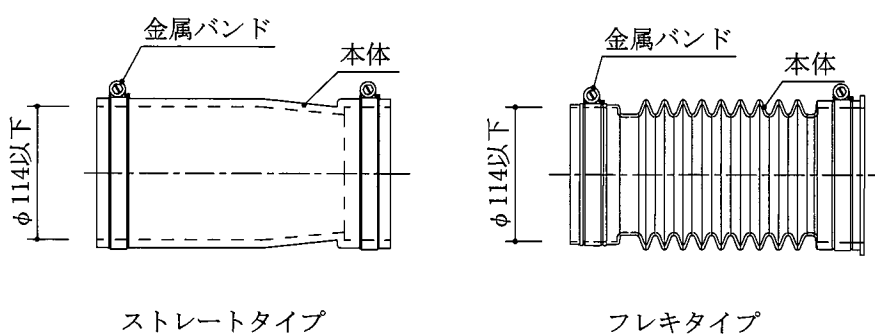


立て管・横枝管の詳細図(外管が円筒の場合)

図3 構造説明図



立て管・横枝管の詳細図(外管が円筒・単管連結筒の場合)



継手(横枝管用)断面詳細図(代表例)

図4 構造説明図

6. 施工方法：

施工は以下の手順で行う。

- (1) 開口面積、占積率の確認配管図に基づき配管の設置状況及びサイズを調べ、開口面積・占積率を確認する。
- (2) 閉塞機能継手の仕様  
閉塞機能継手の上部には必ず継手を接続し、床スラブに必ず閉塞機能継手が15mm以上埋設するように配管する。立て管が上階への接続が無い場合は、横枝管と同様とし器具に接続する。
- (3) 施工注意事項  
外管の軽妙なヒビ又はキズ等の補修は目地材等にて補修する。
- (4) 単管連結筒は貫通部に使用しない。
- (5) 配管支持配管の支持は、定められた支持施工方法に準じて行う。
- (6) 貫通部の埋戻しの確認配管と防火区画の床の開口部を、充てん材で隙間を生じないように密に充てんする。